



# Microsoft Hyper-V での Cisco IMC Supervisor のインストール

---

- [Hyper-V 用の Cisco IMC Supervisor について, 1 ページ](#)
- [前提条件, 1 ページ](#)
- [Microsoft Hyper-V 2008 R2 での Cisco IMC Supervisor のインストール, 2 ページ](#)
- [Windows 2012 R2 向け Microsoft Hyper-V での Cisco IMC Supervisor のインストール, 4 ページ](#)
- [Shelladmin によるネットワーク インターフェイスの設定, 6 ページ](#)

## Hyper-V 用の Cisco IMC Supervisor について

Hyper-V 環境での Cisco IMC Supervisor の導入がサポートされます。



---

(注) SCVMM コンソールではなく、Hyper-V Manager ホストに Cisco IMC Supervisor を導入することをお勧めします。

---

## 前提条件

- Hyper-V Manager のインストール
- 設定されたシステム管理者権限
- Hyper-V ホストにインストールされた Cisco IMC Supervisor

# Microsoft Hyper-V 2008 R2 での Cisco IMC Supervisor のインストール

はじめる前に

Hyper-V のシステム管理者権限が必要です。



---

(注) DHCP を使用しない場合、IP アドレス、サブネット マスク、デフォルト ゲートウェイの情報が必要です。

---

## 手順

- ステップ 1 Hyper-V ホストにログインします。
- ステップ 2 [Start] > [Administrative Tools] を選択して、Hyper-V Manager を開きます。
- ステップ 3 [Hyper-V Manager] ダイアログ ボックスで [New] > [Virtual Machine] を選択します。
- ステップ 4 [Before You Begin] ペインで、カスタム設定オプションを選択して [Next] をクリックします。
- ステップ 5 [Specify Name and Location] ペインで、[Name] フィールドの VM 名を編集し、[Next] をクリックします。
- ステップ 6 [Specify Name and Location] ペインで、[Store the virtual machine in a different location] チェックボックスをオンにし、代替場所を指定します。指定しないと、仮想マシンはデフォルトのフォルダに保存されます。
- ステップ 7 [Next] をクリックします。
- ステップ 8 [Assign Memory] ペインで、この VM に割り当てるメモリの量を入力し（12 GB を推奨）、[Next] をクリックします。
- ステップ 9 [Configure Networking] ペインで、[Connection] フィールドに指定した設定の変更は行わず、[Next] をクリックします。
- ステップ 10 [Connect Virtual Hard Disk] ペインで、[use an existing virtual hard disk] または [attach a virtual hard disk later] を選択し、[Next] をクリックします。
- ステップ 11 [Next] をクリックします。
- ステップ 12 [Completing the New Virtual Machine Wizard] ペインで設定を確認し、[Finish] をクリックします。
- ステップ 13 [Hyper-V Manager] ペインで、新しい VM を右クリックし、[Settings] を選択します。
- ステップ 14 [Navigation] ペインで、[IDE Controller 0] を選択します。
- ステップ 15 [IDE Controller] ペインで、[Hard Drive] を選択して [Add] をクリックします。
- ステップ 16 [Hard Drive] ペインで、[Browse] をクリックし、ダウンロードした Cisco IMC Supervisor .vhd ファイルを選択して [Open] をクリックします。
- ステップ 17 [Apply] をクリックします。
- ステップ 18 仮想ハード ドライブのプロパティを確認します。
- ステップ 19 [Navigation] ペインで、[Memory] を選択します。
- ステップ 20 [Memory] ペインで、推奨値（12 GB 以上）を入力し、[Memory weight] を [High] にドラッグします。
- ステップ 21 [Navigation] ペインで、[Processor] を選択します。
- ステップ 22 [Processor] ペインで、推奨値（4 vCPU）を選択し、[Resource Control] ペインで、[Virtual machine reserve (percentage)] フィールドに 100 と入力します。
- ステップ 23 [Navigation] ペインで、[Network Adapter] を選択します。
- ステップ 24 [Remove] をクリックして、新規 VM の作成時に作成されたネットワークアダプタを削除します。
- ステップ 25 [Navigation] ペインで、[Add Hardware] を選択します。
- ステップ 26 [Add Hardware] ペインで、[Legacy Network Adapter] を選択して [Add] をクリックします。
- ステップ 27 [Legacy Network Adapter] ペインの [Network] フィールドで、[Local Area Connection - Virtual Network]

を選択し、[Apply] をクリックします。

**ステップ 28** vCPU とメモリのリソースが十分に割り当てられていることを確認します。  
最小システム要件については、「[最小システム要件](#)」を参照してください。

**ステップ 29** [OK] をクリックします。

**ステップ 30** VM の電源を入れます。

**ステップ 31** 必要に応じて、shelladmin からネットワークプロパティを設定できます。ネットワークプロパティの設定の詳細については、「[Shelladmin によるネットワーク インターフェイスの設定](#)」を参照してください。

**ステップ 32** アプライアンスが再起動したら、表示された Cisco IMC Supervisor の IP アドレスをコピーして、サポートされている Web ブラウザに貼り付けて [Login] ページにアクセスします。

**ステップ 33** ログインプロンプトで、ユーザ名として admin、パスワードとして admin を入力して Cisco IMC Supervisor にログインします。  
(注) この初回のログインの後に、管理者パスワードを変更します。

---

#### 次の作業

ライセンスを更新します。

## Windows 2012 R2 向け Microsoft Hyper-V での Cisco IMC Supervisor のインストール

#### はじめる前に

- Hyper-V のシステム管理者権限が必要です。
- Windows 2012 R2 with Hyper-V Manager バージョン 6.3.9



- (注)
- ウィザードでは標準 VM を作成します。デフォルトの設定を受け入れ、最後に VM を編集します。
  - デフォルトでは、このバージョンの Microsoft Hyper-V は DHCP を使用します。DHCP ではなく静的 IP アドレスを使用する場合は、shelladmin を使用してこの設定を変更できます。
-

## 手順

- ステップ 1 Hyper-V ホストにログインします。
- ステップ 2 [Start] > [Administrative Tools] を選択して、Hyper-V Manager を開きます。
- ステップ 3 [Hyper-V Manager] ダイアログ ボックスで [New] > [Virtual Machine] を選択します。
- ステップ 4 [Before You Begin] ペインで、[Next] をクリックします。
- ステップ 5 [Name and Location] ペインで、[Name] フィールドの VM 名を編集し、[Next] をクリックします。
- ステップ 6 [Specify Name and Location] ペインで、[Store the virtual machine in a different location] チェックボックスをオンにし、代替場所を指定します。指定しないと、仮想マシンはデフォルトのフォルダに保存されます。
- ステップ 7 この仮想マシンに対し [Generation 1] を選択します。
- ステップ 8 [Next] をクリックします。
- ステップ 9 [Assign Memory] ペインで、この VM に割り当てるメモリの量を入力し（12 GB を推奨）、[Next] をクリックします。
- ステップ 10 [Configure Networking] ペインで、[Connection] フィールドに指定した設定の変更は行わず、[Next] をクリックします。
- ステップ 11 [Connect Virtual Hard Disk] ペインで、[use an existing virtual hard disk] または [attach a virtual hard disk later] を選択し、[Next] をクリックします。
- ステップ 12 [Completing the New Virtual Machine Wizard] ペインで設定を確認し、[Finish] をクリックします。
- ステップ 13 [Navigation] ペインで、新しい VM を右クリックし、[Settings] を選択します。
- ステップ 14 [Navigation] ペインで、[IDE Controller 0] を選択します。
- ステップ 15 [IDE Controller] ペインで、[Hard Drive] を選択して [Add] をクリックします。
- ステップ 16 [Hard Drive] ペインで、ダウンロードした Cisco IMC Supervisor .vhd ファイルを選択して [OK] をクリックします。
- ステップ 17 仮想ハード ドライブのプロパティを確認します。
- ステップ 18 [Navigation] ペインで、[Memory] を選択します。
- ステップ 19 [Memory] ペインで、推奨値（12 GB 以上）を入力します。
- ステップ 20 [Navigation] ペインで、[Processor] を選択します。
- ステップ 21 [Processor] ペインで、推奨値（4 vCPU）を入力します。
- ステップ 22 新規 VM の作成時に作成されたネットワーク アダプタを削除します。
- ステップ 23 [Navigation] ペインで、[Add Hardware] を選択します。
- ステップ 24 [Add Hardware] ペインで、[Legacy Network Adapter] または [Network Adapter] を選択して [Add] をクリックします。
- ステップ 25 [Navigation] ペインで、従来のネットワーク アダプタを選択します。
- ステップ 26 [Legacy Network Adapter] ペインの [Network] フィールドで、[Local Area Connection - Virtual Network] を選択し、[Apply] をクリックします。
- ステップ 27 vCPU とメモリのリソースが十分に割り当てられていることを確認します。最小システム要件については、「[最小システム要件](#)」を参照してください。

- ステップ 28** VM の電源を入れます。
- ステップ 29** 必要に応じて、shelladmin からネットワーク プロパティを設定できます。ネットワーク プロパティの設定の詳細については、「[Shelladmin によるネットワーク インターフェイスの設定](#)」を参照してください。
- ステップ 30** アプライアンスが再起動したら、表示された Cisco IMC Supervisor の IP アドレスをコピーして、サポートされている Web ブラウザに貼り付けて [Login] ページにアクセスします。
- ステップ 31** ログインプロンプトで、ユーザ名として admin、パスワードとして admin を入力して Cisco IMC Supervisor にログインします。
- (注) この初回のログインの後に、管理者パスワードを変更します。

### 次の作業

ライセンスを更新します。

## Shelladmin によるネットワーク インターフェイスの設定

この手順は任意です。

### 手順

- ステップ 1** 次のクレデンシャルで Cisco IMC Supervisor VM コンソールにログインします。
- ユーザ : shelladmin
  - パスワード : changeme
- shelladmin にログイン済みでデフォルトパスワードを変更している場合は、上記パスワードの代わりにその新しいパスワードを使用します。
- ログイン後に [Change shelladmin password] を選択してデフォルトパスワードを変更できます。
- ステップ 2** [Configure Network Interface] を選択します。
- ステップ 3** Do you want to Configure DHCP/STATIC IP [D/S] プロンプトで、次のどちらかを入力します。
- DHCP が有効である場合、D を入力します (IP アドレスが自動的に割り当てられます)。
  - スタティック IP を設定するには、S を入力してから、次のプロンプトで設定するインターフェイスを選択します。その後 IPv4 または IPv6 を選択するオプションが表示されます。続いて、選択されたインターフェイスと IP のバージョンの確認が行われます。[Y] を選択して続行します。次の詳細を入力します。
    - IP アドレス
    - ネットマスク
    - ゲートウェイ

- (任意) DNS サーバ 1
- (任意) DNS サーバ 2

**ステップ 4** プロンプトが表示されたら、承諾します。

---

